

Ⅱ 児童と校区の実態

1 本校児童の実態

本校児童のもっと伸ばしたい面

- ・明るく素直であり、教師の指示や指導によく従う。
- ・心優しく、特に上学年児童が下学年児童の面倒をよくみる。
- ・読書が好きである。
- ・屋外でよく遊ぶ。
- ・働くことを嫌がらず、掃除や作業に熱心に取り組む。

本校児童の改善したい面

- ・与えられた課題には取り組むが、積極性に欠ける児童が多い。
- ・学力面での二極化がみられる。
- ・自分の考えをまとめ、それを他者に伝えるコミュニケーション能力にやや欠けている。
- ・言葉遣いがあまりよくない。特に、時と場に応じた言葉遣いができない児童がいる。
- ・望ましい生活習慣や家庭学習の習慣があまり身につけていない児童がいる。

2 児童数及び学級数等（5／1現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
男子	50	59	56	39	32	39	8	283
女子	56	55	49	55	40	44	3	302
計	106	114	105	94	72	83	11	585
学級数	4	4	3	3	3	3	3	23
家庭数	52	63	66	80	71	83	8	423

3 地区別児童数

仁保津上	仁保津下	仁保津東	岩屋	檉の前	八方原	森下	新町東上	新町東下	新町西	平原	白土
22	37	7	5	11	6	6	64	18	63	4	4
宮の前	宮の原	椎の木	光が丘南	光が丘中	光が丘東	前畑	奥畑	鍛冶畑	わかば台	ヴェルコリーナ	校区外
18	4	13	11	31	39	2	4	0	71	142	2

4 児童を取り巻く校区の実態

上郷小学校校区は、山口市小郡地区の東北部にあり、校地は「光が丘」の高台に位置し、校舎からは、榎野川や小郡平野を見降ろし、はるかに新幹線を望む閑静な場所に位置している。「岩屋地区」には、わが国の「なぎ」の北限自生地があり国の天然記念物にも指定されている。

校区内には、国道9号線や主要地方道小郡三隅線があり交通量も非常に多く、JR山口線もあり、踏切を横断する児童もいるので、交通安全教育等を継続する必要がある。

また、従来のどかな田園地帯であったが、宅地開発が進み、近年新しい住宅地も多く造成され、児童数も増加傾向にある。地域の実態としては、古きよき伝統と進取の機運がほどよく調和し、地域独自の連帯づくりに努力し、新たな伝統が継承されてきている。